

この地から!



この力!

直撃
インタビュー

毎日が夢を追い求める日々!

おぎ そ まさ こ
小木曾昌子さん
(ダンススタジオ・ダンシングハート主宰)

ダンス、ミュージカル、ファッションショー……。ステージを夢見る人たちのサポートをするために、岐阜と東京を毎週往復しながらレッスンや演技指導を続けているダンサー、小木曾昌子さん。金宝町のスタジオで、ステージエンタテイメントにける熱い思いを聞きました。

人 枠にこだわらない自由な表現をめざして



小さい頃親の勧めでバレエを習いました。中学ではテニス部に所属、キャプテンでした。ダンサーという夢を意識するようになったのは、高校生のとき、きっかけは友人の誘いではじめたモダンダンスです。大学時代にジャズダンスをはじめ、卒業後ニューヨークへ行くチャンスに恵まれました。

N.Yでは、バレエ・ジャズ・タップ等のダンスや歌・演技のレッスンを積み重ねたダンサー達が活躍して舞台を創りあげていました。当時バレエはバレエ、ジャズはジャズという枠でダンスをとらえていた私はショックを受け、枠にこだわらず、どんなダンスも吸収したいという大きな目標をもちました。

人 体ひとつでコミュニケーションがとれる魅力

よく一挙手一投足がびったりそろうことがダンスだと思われがちですが、手足の長さも違う、年齢も違う、違いを認め合いながら踊る、それが豊かな心と感性を育むダンスだと思います。国籍も地位も関係ない。からだひとつでコミュニケーションがとれるところが、一番の魅力だと思います。ダンスは心の表現なんです。

人 本当の楽しさを感じてほしい

出番を終えて舞台袖に戻ってきたメンバーたちの、緊張から解放された充実感・達成感に満ちた表情を見るのが大好きです。あの顔は、親でも見るできないんですよ。

練習を重ねるうち、できることが一つずつ増えていく喜びが次の困難を乗り越える力になり、自信につながります。本当に楽しいってそういうこと。うまいへたより大事なことが、そこにあると思います。



『Dancing Forever '07』の舞台より
(岐阜未来会館 長良川ホール)

人 これからの夢

どんなに東京での仕事が忙しくても、毎週岐阜のレッスンには必ず帰るようにしています。私のレッスンを心待ちにしてくれる地元メンバーがいるからです。岐阜も東京もどちらも大切です。東京で得た新しい技術や情報を伝えたり、地元メンバーと東京のメンバーが岐阜で交流したりという時間を大事にしています。

私の仕事は、毎日が夢を追い求めているようなもの。さしあたっての目標は、12月に東京で行う大きなステージと、2月3月のタレントオーディションをめざすメンバーを合格させる事。また、来年8月には岐阜のステージがあります。今、目の前にある一つ一つの目標を達成することそのものが、私の夢なんです。

みんなへのメッセージ

「目標はありません」なんて言わないで、夢や願いをしっかりと持てる人になってほしい。今やるべきことに取り組んでいるうち、気がつけば大きな夢を達成させるための力が付いてきますよ。やってきたことすべてが栄養になるんです。



🎁 プレゼント

「ダンシングハート」のレッスン体験チケット(egg専用)とパンフレットをプレゼントします。詳しくは裏面のプレゼントコーナーをご覧ください。

どんなに辛いことがあっても、ダンスをやめようと思ったことは一度もないと明るく笑う小木曾さん。そのエネルギーは、きっと「本当の楽しさ」を知ることから生まれてくるのだと感じました。

小木曾昌子 プロフィール

1960年、岐阜市生まれ。徹明小、本荘中を卒業後、名古屋市内の高校へ進学、この頃から本格的にダンスをはじめ。大学卒業後、オーディションに合格して渡米。ジャズダンスの創始者ルイジ・ファチュート氏に師事。以後ダンサーとして活躍しながら、ステージエンタテイメント指導者としての道を歩む。現在、岐阜と東京にダンススタジオを主宰、渡辺プロの講師をはじめ、各種舞台の振り付け・演出、オーディション指導、運動療法講師など、多方面で活躍中。横浜市在住。